

加西インター産業団地について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 2工区の進入路を中富町の磯辺池北側辺りに計画していると聞いている。小学生の通学路でもあるが、進入路として決定しているのか、また、どのような安全対策を講じるのか。

答 2工区の県道多可北条線からの進入路について、現在2工区の北東にある磯辺池の北で県道に接続する計画で関係機関と協議を進めています。

磯辺池の北には、幅員が約3メートルの市道中富越水線があ

り、2工区の進入路として拡幅する計画です。泉小学校の通学路となっているため安全も最大限考慮し、全幅9.5メートルで2.5メートルの歩道を整備する予定です。子供たちがこの歩道を使うことにより、より安全に通学できると考えています。工事中の安全対策として、作業員に安全を徹底し、警備員を適正に配置することはもちろん、必要に応じて仮の通学路を設置する等、十分な安全対策を講じます。

問 1-2工区について、リスパックの操業へ向けての工場建設、また操業に当たっての地元雇用など、現在の準備状況は。

答 加西インター産業団地への進出企業引渡し第1号のリスパック株式会社の新工場は、関西工場として同社5番目の工場と

なります。環境負荷低減につながる食品容器の生産増強を目指す次世代型のパッケージ工場として、スーパーマーケットやコンビニ、食品加工メーカー向けに植物由来のバイオプラスチック配合素材を中心とした食品容器を生産し、西日本エリアへの供給の拠点となります。令和4年4月に建築着工、令和6年4月に稼働予定で、延べ床面積2万8,430平方メートル、投資額は約180億円を予定されています。

従業員は144名を予定し、うち115名を地元採用したいと聞いています。

■その他の質問項目

- ・加西市の異常気象への対応について
- ・北条高校について
- ・加西市のデジタル化について

子育て支援について



下江 一将 議員
(21政会・加西とも子育て会)

問 子育てと仕事の両立のためのワークライフバランス実現に向けた市内の取組は。

答 加西商工会議所産業活性化センターでは市内企業向けのワークライフバランスセミナーを開催し、子育てと仕事を両立できる企業等の増加に努めています。また、来春オープンする屋内型遊戯施設とテレワークセンター、通称「アスモ」は、一時預かりで子供を預けて隣のテレワー

クセンターで仕事ができ、子育てと仕事の両立が可能となります。

問 ワークライフバランスに関する講座や勉強会について。

答 男女共同参画事業として、県の男女共同参画センター「イーブン」とふるさとハローワークの共催により、テレワーク講座や子育て期のワークライフバランスなど、子育てと仕事の両立をテーマにした女性のための働き方セミナーを毎年開催しています。また、チャレンジ相談も例年開催し、子育てや仕事に悩む女性を対象に、キャリアコンサルティング技能士が相談に応じたり、就職や再就職、起業、テレワークなどのアドバイスも行っています。

問 子育て中の男性に対する支援や学ぶ機会について。

答 父親の育児参加の啓発活動として、母子健康手帳交付の際に、妊娠期からの家事や産後の育児の役割分担や子供の発育発達について解説した小冊子の配布を行っています。また、妊娠期に両親で参加できるパパママクラブを実施、沐浴やおむつ交換など男性にも体験していただくことで、産後積極的に父親が育児参加できるように支援をしています。

未就園児を持つ世代では外出先が限られることや、コミュニティや紙面による情報を得にくいという特徴があるため、ニーズを把握しながら発信方法に配慮し、男女にかかわらず育児世代への支援内容やライフモデルを発信します。また、参加しやすい形態のイベントなども検討し、子育て世代にとってさらに生活しやすいまちづくりを目指します。